

# 近代英語協会ニュースレター

2023年(令和5年)10月15日

近代英語協会事務局分室

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12

愛知学院大学文学部前田研究室内

協会ホームページ <http://www.modernenglish.jp/index.html>

電話: 0561-73-1111(内線 3264)

年会費振替口座 00810-9-5821

## 1 第40回大会の報告

第40回大会は、去る6月24日(土)に関西外国語大学で開催されました。今回は久しぶりの対面での大会となりました(対面・リモート併用のハイブリッド)。久しぶりに皆様のお元気な姿を拝見し、事務局一同たいへん喜ばしく思いました。さて、大会では、まず関西外国語大学学長であられる大庭幸男先生に歓迎の挨拶をいただき、続いて中村不二夫会長より開催のご挨拶を頂きました。その後、縄田裕幸先生(島根大学)を中心に行われたシンポジウム「英語史の事実から言語理論を検証する—通時的に妥当な理論の構築を目指して」、および6件の研究発表が行われました。そして最後に特別講演として、広島大学名誉教授・中尾佳行先生による「G. Chaucer が近・現代英語に遺したもの—英語の詩的資源の発見とその最大限の活用」と題する大変興味深いご講演をいただきました。シンポジウム・研究発表・講演は知的刺激に満ちたものが多く、質疑応答においても活発な議論の花が咲き、盛会のうちに幕を閉じました。懇親会は大事をとって中止とさせていただきます。ともかくも、参加者の皆様の暖かいご協力のおかげで、久しぶりの対面の大会ながら大きな支障なく終えることができました。この場をお借りして事務局一同厚く御礼申し上げます。なお今回の大会を開催するにあたり、関西外国語大学のスタッフの皆様の絶大なご協力を賜りましたことを申し添えておきます。

今回の大会の参加者数は、対面の参加者51名およびリモートの参加者55名の、合計106名でした。なお、年度別参加者数は次の通りです。

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
大会	84	83	92	84	85	94	94	—	80	60	106
懇親会	39	40	48	42	44	50	50	—	—	—	—

次回大会もぜひ奮ってご参加ください。

## 2 第41回大会について

第41回大会は2024年6月22日(土)、対面式により日本大学文理学部(東京都世田谷区)で開催される予定です。個人研究発表の締め切りは2024年1月31日(水)です。発表をご希望の方は、(a) 発表題目と400字程度の要旨、(b) 氏名・所属・職位・略歴・連絡先(住所、電話番号、Eメールアドレス)・大会発表助成金希望の有無(※参照)を別文書として作成し、下記の(ア)、(イ)いずれかの方法でご応募ください。様式は、協会ホームページにあります。なお、本協会の趣旨により、発表内容は近代英語の研究、あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資するものとしてください。

(ア) Eメール添付による応募

- ・ (a) 特殊文字を使用される場合はMSWord文書、及びそのPDFファイルを添付
- ・ (b) 特殊文字を使用されない場合はMSWord文書のみを添付

宛先 [akiha.tomofumi@nihon-u.ac.jp](mailto:akiha.tomofumi@nihon-u.ac.jp)

#### (イ) 郵送による応募

- ・(ア) の (a) または (b) のいずれかを記憶した CD-R
- ・打ち出し原稿

宛先 〒154-8513 東京都世田谷区下馬 3-34-1  
日本大学スポーツ科学部 秋葉倫史

#### ※ 大会発表助成金制度について

本協会では、大会参加への費用を軽減し、若手研究者を中心に大会発表を奨励するため、大会発表助成金制度を設けております。助成対象者は、発表を行う大学院生・常勤職のない会員（発表を行う年の4月1日時点で37歳以下または修士号取得後10年以内で、所属機関等より大会会場への交通費の補助を受けていない者）といたします。また、助成金額は、自宅から大会会場までの国内交通費（往復）とし、交通費の計算は協会事務局が行います。なお、申請方法は、大会発表の受理後に、申込用紙（発表応募時に希望を明記）に詳細を記入し、事務局に提出頂きます。多くの発表の応募をお待ちしております。

### 3 『近代英語研究』 第39号の発行について

第39号は予定どおり刊行され、第40回大会にご出席の皆様には大会受付において配布し、大会をご欠席の皆様にはこのニューズレターと同封して会員全員に郵送いたしました。会員の皆様の中で、万が一お受取になられていない方がいらっしゃいましたら、お手数ではございますが、事務局長（秋葉倫史）までメール（akiha.tomofumi@nihon-u.ac.jp）にてお知らせください。改めて送付させていただきます。

### 4 近代英語協会最優秀新人賞ならびに優秀学術奨励賞の選考結果について

本年度は残念ながら該当者がございませんでした。次年度号での多くの応募者を心よりお待ちしております。なお、賞には、最優秀新人賞と優秀学術奨励賞の2種類がございます。若手による当該年度の掲載論文の中から、前者は特に優秀な論文に、後者は、最優秀新人賞には至らないが将来性を感じさせ優れていると評価された論文に与えられます。最優秀新人賞には表彰状と記念品が、優秀学術奨励賞には表彰状が授与され、その荣誉が讃えられます。

選考対象は、「協会誌への掲載が可となった、投稿締切日時点で37歳以下の、または修士号取得後10年以内の執筆者による論文のうち、「原稿応募時に「執筆者情報ファイル」において賞の選考を希望する意思が表明されていた論文」（選考規程第2条より）です。選考希望の意思表示のため、論文投稿の際、「執筆者情報ファイル」内の項目3の該当欄に「○」をご記入ください

### 5 『近代英語研究』掲載論考の転載（および刊行）許可申請手順について

『近代英語研究』に掲載済みの全ての論考の著作権につきましては本協会に属することをご理解いただきたいと思います。掲載済み論考を著者の方がご自身の学位論文へ転載を希望される場合、および、その論考が転載された学位論文の刊行を希望される場合もあるかと存じます。そのような場合につきましては、編集幹事宛に所定の許可願をご提出いただくことで、協会から許可書を発行させていただきます。ご希望の方には申請書をお送りいたしますので、編集幹事（菊地・田中）までEメールにてご連絡をお願いいたします。

### 6 『近代英語研究』掲載論考の、研究機関（大学等）リポジトリへの登録について

上記の通り、『近代英語研究』に掲載済みの全ての論考の著作権につきましては、本協会に属することをご理解いただきたく存じますが、掲載済み論考を著者の方が研究機関（大学等）リポジトリへの登録を希望される場合もあるかと思っております。その場合につきましては、協会誌の発行の1年後から登録を可能とすることになりましたので、登録する前に編集幹事（菊地・田中）まで、ご相談のご連絡をお願いいたします。

### 7 『近代英語研究』電子アーカイブ化

J-STAGE（独立行政法人科学技術振興機構）に、『近代英語研究』が電子アーカイブ化されております。パソコン等でサイトにアクセスすると、創刊号から第25号（2009年）までの論考を、現在ご参照いただけます。近代英語協会ホームページ<<http://www.modernenglish.jp/index.html>>左下の「協会出版物」からのリンクが便利です。また、

『近代英語研究』の冊子と同様に、すべての著作権は本協会に帰属することをご了解いただきたく存じます。

## 8 ホームページの図書紹介欄について

会員の皆様が出版された文献を本協会のホームページでご紹介いたします。自薦、他薦は問いません（他薦の場合は著者の了承を得てください）。紹介されたい著書（翻訳本も可）のタイトル、表紙の写真、および紹介文（800字程度まで）を添付し、IT 管理者の村岡宗一郎先生まで電子メールでお送りください。なお、書籍の実物の事務局への送付はお控えください。

## 9 会費納入のお願い

本年度の大会資料をお届けした本年 5 月中旬、会員お一人お一人に振込用紙を同封いたしました。どうか、納入漏れのないよう今年度中に請求額全額をお振り込みいただきますようお願い申し上げます。協会の円滑な運営のため、ご協力ください。なお、3 年間未納の場合は、規定により退会となりますのでご注意ください。会費の支払いについてのお問い合わせは、事務局長（秋葉倫史）までメール（akiha.tomofumi@nihon-u.ac.jp）にてお尋ね下さい。

## 10 終身会員制度について

終身会員の申込資格は次の(1)、(2)のいずれかとなります。

- (1) 66 歳以上、または当該年度中に 66 歳になる会員で、過去 10 年間会費を全納した会員
- (2) 顧問として承認された会員

申請の際には、所定の申請書を提出し、終身会費 3 万円を払ってください。申請用紙、ならびに払込用紙は事務局長（秋葉倫史）までメール（akiha.tomofumi@nihon-u.ac.jp）にてご請求ください。申請された年度より年会費は不要となります。終身会員には大会の懇親会に無料で参加できる特典もあります。なお昨年度の理事会決定により、理事の方は終身会員への申請ができませんのでご了承ください。

## 11 所属、および連絡先通知のお願い

所属、および連絡先（住所、E メールアドレス等）に変更があった場合は、速やかに事務局長（秋葉倫史）までメール（akiha.tomofumi@nihon-u.ac.jp）にてお知らせください。学生会員の方が学生の身分を終えられたときも、会員種別が「学生会員」から「一般会員」へ変更となりますので、必ずメールにてお知らせください。よろしく願いいたします。

## 12 出版事業について

これまでくり返しお伝えしてきましたが、当協会では、昨年度から、これまで刊行してきた協会誌『近代英語研究』に加えて、『近代英語協会研究叢書』という名称で新たな出版業務を推進しています。それを受けて、今年度中には記念すべき『近代英語協会研究叢書』第 1 巻、*Linguistic and Stylistic Approaches to Speech, Thought and Writing in English: Diachronic and Synchronic* [MEA Studies in English Philology and Linguistics 1] が Peter Lang から出版される運びとなっております。この出版事業は、協会内の研究を活性化し、とくに大学院生など若手研究者に執筆の機会を提供することが主な狙いです。また、今後は協会の出版活動を広く宣伝し、出版業務を新会員獲得のツールとしていく所存です。さらに今年度は、第 1 巻に続き、第 2 巻の原稿募集も行っています。第 2 巻は『文法化と文法変化』がテーマです。編者は新たに会長になられた保坂道雄先生（日本大学）および私（前田）です。なお各巻にはそれぞれ具体的なテーマが設定されていますが、テーマに沿った論文（第 1 部）とそれ以外のテーマ自由の論文（第 2 部）からなる 2 部形式を想定しており、投稿の際の論文のテーマは自由にお選びいただけます。この点、誤解のないようお願いいたします。なお第 2 巻の詳細情報につきましては、同封の案内、または近代英語協会 HP (<http://www.modernenglish.jp>) を参考にして下さい。最後に、『近代英語協会叢書』への投稿は、当協会に所属する会員の特権です。当協会の会員で会費の滞納がなければ、原則、どなたでも投稿できます。この件について何かご不明な点がございましたら、編者（前田）までメール（maeda@dpc.agu.ac.jp）にてお尋ね下さい。

### 13 事務局より

事務局長に就任してはや4年が過ぎ、とうとう次の事務局にバトンを渡す時がまいりました。就任したのが2019年のちょうど今頃で、まだこの頃は「コロナ」の「コ」の字も出ていない、嵐の前の静けさというべき平和な時期でした。それが半年も経たない間に前代未聞のパンデミックに見舞われ、大学から1年近くも学生が消えるという前代未聞の大事件に発展しました。ちょうどこの頃、教務主任という大学の重責を務めており、2020年の3月までが任期でした。その任期が終わるかどうかのときにコロナ禍が現実味を帯びてきて、4月中本務校がお休みになりました。教務主任が終わった後の「お疲れ休み」とばかりに能天気喜んで自分が今では許せません。なにしろその時の私は新型コロナをたかが伝染病とタカをくくっていましたが、半年たっても状況が好転しないのを見て、これはただ事ではないと、ようやくその時点でこの重大さに気づいた始末です。その後は皆様のご存じのとおり、信じられないこと続きで、我慢の連続、いろいろとストレスが溜まる3年間でした。任期の最後半年になってやっとコロナ禍も終わりが見えてきて、最期の年は何とか対面での大会開催にこぎつけました。それだけが自分にとって唯一の救いです。コロナ禍をはじめ、様々な問題があるなか、まがりなりにも職務をまっとうできたのは会長、事務局のスタッフ、理事の皆様、そして何よりも会員の皆様のご協力の賜物だと、心より感謝申し上げて最後の挨拶とさせていただきます。

事務局長 前田 満

- 協会誌について  
菊地翔太・田中裕太（五十音順）（編集幹事共通：mode.assoc@gmail.com）
- ホームページについて（会員の出版された図書紹介もお寄せください）  
村岡宗一郎（※ IT 管理者の連絡先は後日ホームページ上に掲載予定）
- その他全般について  
事務局長 秋葉倫史（akiha.tomofumi@nihon-u.ac.jp）